

創刊号

明大校友会西東京だより

発行
 明治大学校友会
 西東京市地域支部
 事務局
 西東京市芝久保町
 2-1-21 (有賀)
 TEL 0424-67-9815

明治大学校友会

西東京市地域支部発足

西東京市地域支部長

有賀 茂
(三二経営卒)



明治大学校友会より授与された支部旗

明治大学校友会西東京市地域支部が七月の一日設立許可されました。待望の地域支部の設立であり、大学の関係者をはじめ設立にご苦労いただいた諸氏に心より感謝申し上げます。

我が明治大学は、明治法律学校として一八八一年一月開校し、翌年には「校友会規則」が制定され、校友会制度が発足し一二〇年余になります。

時代の移り変りと共に校友会も幾多の変せんを経て大学創立一二〇周年を機に校友会活動とそのあり方等基本的事項について見直しが行なわれ、二〇〇三年九月校友会々則の全面改正により新生校友会が発足したようでありま。

従来の校友会は、親睦中心の同窓会のように、集まっつては昔日を偲んで楽しむというものでしたが、新生校友会は、我々の心のふるさとである大学と一体となり連携を深め、諸活動を支援するなど校友会の方向性が示されております。

校友の皆様には、西東京市地域支部設立についてご理解いただき、大学が実施する諸事業はもとより地域



地域支部設立準備会出席者

支部が行なう事業についてもご参加いただき、会員相互の親睦を計りながら西東京市地域支部長 有賀 茂 部発展のためご協力ください。 ようお願い申し上げます。

西東京市地域支部 設立までの歩み

平成一六年五月三〇日、明治大学校友会北部支部総会、及び懇親会が開催されました。西東京地区からの出席者は九名、地域支部は未結成で、独立した席もなく、一抹の淋しさを感じました。そこで、「西東京支部をつくらう。」と設立準備局を立ちあげました。その後西東京支部が校友会本部に認定されるまでの歩みをまとめました。

明治大学校友会 西東京市地域支部 設立までの歩み

平成一六年六月六日
 明治大学校友会北部支部 定時総会(五/三〇)に参加した西東京市在住の校友九名(丸岡・丸岡(百)・安松・

尾形・水井・鶴田・吉田・熊田・武藤/敬称略、順不同)の五名が準備の為に意見交換をスタート!

平成一六年七月一八日
 第一回事務局会議
 設立準備局を立ち上げ、九名全員が局員として活動を

明治大学校友会西東京市地域支部会則(抜粋)

- 第一条 本会の名称は「明治大学校友会西東京市地域支部」と称する。
- 第二条 本会は「明治大学校友会北部支部」所属の地域支部である。
- 第三条 本会の目的は校友会本部実施の事業や支部活動への積極的参加、会員相互の親睦交流と地域社会への貢献とする。
- 第四条 事務所の所在地は地域支部長指定地に置く(中略)。
- 第五条 本会の事業としては大学賛助事業・本会振興事業・地域社会への貢献・PR・会員名簿や会報発行、その他とする。
- 第六条 会員資格は明治大学校友会西東京市内の居住者、及び市内勤務者とする。特別会員、準会員規定(省略)。
- 第七条 本会役員は地域支部長(一名)、地域支部副部長(若十)、地域支部幹事長(一名)、会計(二名)、地域支部監査委員(二名)、地域支部副幹事長(若干名)、幹事(若干名)とする。
- 第八条 地域支部長、地域支部副部長、地域支部幹事長、会計、地域支部監査委員は総会にて選任され、地域支部副幹事長、幹事(略)。
- 第一六・一七条 本会経費は年会費他とし年額三、〇〇〇円/一人とする。
- 第一八条 総会決議報告等、以下省略
- は地域支部長が指名総会報告とする。第九条 役員任期は二年、再任は妨げない。(以下省略)
- 第一〇条 顧問・相談役は地域支部長が委嘱、任期は役員に準ずる。
- 第一一条 役員職務(省略)
- 第二二条 年一回の定時総会開催(五月)(中略)
- 第一三・一四条:役員会・委員会開催(中略)
- 第一五条 事業年度は四月一日から三月三十一日まで(略)

- 確認担当区域も決する。
- 平成一六年八月四日
 八/二二の拡大事務局会議開催案内を前記九名が、持参・郵送などで呼びかける
- 平成一六年八月二二日
 第二回事務局会議
 事務局員増(貞重・中井・中沢・有賀・野口の五氏)を見、以降の作業内容、日程を協議。都合三回(八/二四・九/七・九/二九)一〇/一〇・一一/七・一一/一〇)に渡る「はがき投函作業」の開始。
- 平成一六年九月二六日
 第三回事務局会議
 はがき宛名書きから、会則案作成、役員員の件、総会会場他詳細準備品の協議
- 平成一六年一〇月一七日
 第四回事務局会議
 設立総会会費額・案内発送確認、地域支部会則草案、役員案作成創り
- 平成一六年一二月二八日(一三時)一八時
 西東京市地域支部設立準備会・懇親会開催
- 以上のように六月から動き始め、六ヶ月間、合計八回の会合を持ち、有志一四名の強力布陣で見事産声をあげることができた。
- (文責・武藤(四五工卒))

校友会西東京市地域支部への参加と行事活動協力へのお願い

ご案内の様に平成一七年七月二五日に西東京市地域支部が、正式に校友会本部より認可されました。

この度、昨年五月からの校友会のボランティア活動による組織の立ち上げを図るため、一年間設立の準備を進めて参りました。

尚、昨年一月には当地域支部の準備総会を開催しました。これからは、当地域支部の一番大事な時期を迎えます。

ようにして行きたいと考えています。私の母校入学当時は、安保闘争の学生運動盛んなりし頃で休講がしょっちゅうでした。しかし、私は、学生の意志を持っていたので英語の勉強代わりに歌舞伎町の安い三本立て映画館に西部劇をよく観に行っていました。

各町担当幹事紹介

地域支部のより一層の発展を願って、一人でも多くの校友に参加していただくため、各町毎に担当幹事を置くことになりました。

会員とのコミュニケーション促進、及び会員増加に役立てたいと思います。

地区(住所)	OB人数	会員数	担当者
1 谷戸町(1丁目~3丁目)	18人	6人	武藤
2 綾町(1丁目~3丁目)	5人	2人	野口
3 北原町(1丁目~3丁目)	8人	2人	中沢
4 西原町(1丁目~5丁目)	5人	0人	丸岡(忠)
5 田無町(1丁目~7丁目)	5人	3人	丸岡(忠)
6 南町(1丁目~6丁目)	11人	3人	丸岡(百)
7 向台町(1丁目~6丁目)	9人	2人	鶴田
8 芝久保町(1丁目~5丁目)	16人	1人	有賀
9 ひばりが丘(1丁目~4丁目)	7人	0人	野口
10 ひばりが丘北(1丁目~4丁目)	8人	0人	熊田
11 北町(1丁目~6丁目)	7人	1人	垂水
12 下保谷町(1丁目~5丁目)	14人	0人	江原
13 住吉町(1丁目~6丁目)	3人	2人	水井
14 栄町(1丁目~3丁目)	3人	0人	水井
15 泉町(1丁目~6丁目)	9人	2人	安松
16 東町(1丁目~6丁目)	8人	1人	〃
17 中町(1丁目~6丁目)	10人	2人	〃
18 富士町(1丁目~6丁目)	9人	1人	真重
19 保谷町(1丁目~6丁目)	12人	0人	高橋
20 東伏見(1丁目~6丁目)	10人	3人	中井
21 柳沢(1丁目~6丁目)	6人	0人	鶴田
22 新町(1丁目~6丁目)	6人	1人	吉田
	計189人	計32人	

安松(四一政経卒)

明大 校友会 西東京市地域支部 「懇親会」のお知らせ

明治大学校友会「西東京地域支部」の設立が去る7月25日正式に承認されました。設立を機会に会員のコミュニケーションを図る目的で「小金井公園」にて下記の通り「懇親会」を開催致しますので、ぜひご参加ください。

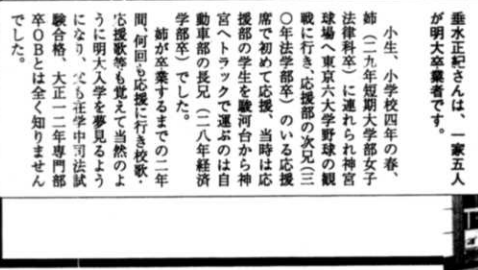
記

- 月 日/平成17年11月26日(土)
- 場 所/都立小金井公園内「江戸東京たても園」
小金井市桜町3-7-1 TEL042-388-3300
*集合場所:「ビジターセンター」(江戸東京たても園) 正面入口
*集合時間:午前10時30分(午後2時頃解散予定)
*小雨決行
- 観覧料/一般400円 65歳以上の方200円
- 昼 食/各人「お弁当・飲み物」をご持参ください。
(高橋は清邸1Fにて昼食)
- 交通のご案内
(1)西武新宿線「花小金井駅」からバス5分
西武バス「花小金井駅入口」(西友 小金井店前)から
「武蔵小金井駅」行きに乗り「小金井公園入口」下車
(2)西武池袋線「東久留米駅」からバス20分
西武バス「東久留米駅」から「武蔵小金井駅」行きに
乗り「小金井公園入口」下車
(3)はなバス:第3ルート
「田無駅」と「東伏見駅」を走るルート中間点の「小金井公園東」
で下車。
*「江戸たても園」は公園の西側にあるため下車した後、
公園内を20分程歩く。
(4)近隣にお住まいの方は自転車が便利です。
(5)駐車場:有料(公園正面と東側の二箇所)
- *ご家族もご一緒にどうぞ。参加費・一般400円、シルバー200円、
小・中学生は無料です。
*問い合わせ先/0424-21-2164(水井)

初の二泊三日温泉旅行

垂水正紀 (四一文学卒)

昭和三八年文学部史学地理学科入学、親友との恒例行事は八月の東京湾華火大会。当日はAさん・Mさんと築地市場で酒の肴を仕入れ、勝関のAさん宅に向かう。仕事帰りのNさんと合流し、川沿いの九階マンションから花火見物と酒宴。そのまま雑魚寝となる。翌朝は自家製のつけ汁で素麺を食して解散。去年は中止となり代りに一二月に東山温泉へ旅行(土日)を計画。宿の手配はMさんの勤務先D(信邦)へ。各客を対象に平成一一年に実施し、第一三〇〇名のお客さんが宿泊した「東山ランドホテル」を同じ旅行社に頼みました。当日はMさんの車で出発し、夕方ホテル着、宿では専用エレベーターで貴賓室へ直行、全員感激! ホテルへ出版社を三年で脱サラし、奥さんの郷里・会津若松市で寿司屋を営んでいるCさんと呼び、卒業以来初めて五人が集い大宴会となる。宴会の途中でホテルの(美人若女将)が登場、参加メンバーの関係を尋ねたので明大・文学部の親友と答え、女将も文学科日本文学専攻とのことでびっくり、更にご主人も商学部卒業生で二度びっくり、宴会も大いに盛り上がりました。翌日は曇り空のなか福島テレビのアナウンサーであるNさんの息子さんに、会津若松市内を案内してもらい、楽しい思い出を胸に帰京しました。



垂水正紀さんは、一家五人が明大卒業生です。

小生、小学四年の春、師(二九短期大学部女子法律科卒)に連れられ神宮球場へ東京六大学野球の観戦に行き、応援部の水元三〇年法学部卒のいる応援席で初めて応援。当時は応援部の学生を警備台から神宮へトラックで運ぶのは自動車部の長兄(二八年経済学部卒)でした。師が卒業するまでの二年間、何回も応援に行き、校歌、応援歌等も覚えて当然のように明大入学を夢見ようになり、父も法学中司法試験合格、大正二年専門部卒OBとは全く知りませんでした。

編集後記

「会報を創ろう!」その声に身震いがした。そして歴史的な第一号ができた。嬉しい。ごめんない。何も手伝えなくて...。(鶴田)

新春は箱根駅伝を楽しみましょう

一〇月二二日、「第八二回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会」が立川の昭和記念公園で行なわれました。わが明治大学は昨年ひびき続き予選を突破、晴れて箱根駅伝に参加することになりました。

長い間、母校不参加のため、お正月の楽しみが無かったのですが、来春も後輩の勇姿を見られるのは喜ばしいことです。古豪明治の復活を応援しよう。

念願の校友会西東京支部が遂に誕生した。みんなの会として親睦の輪をひろめたい。そして益々の発展を期待しよう。

何もない! 資料も、歴史も、お金も。あるのは仲間

地域の校友になつかしい母校との絆を深めていただき。それに少しでもお役に立てば。そんな思いで第一号をお届けいたします。不出来は平にご容赦!

(丸岡・百)